

2003年 9月

文部科学省「科学技術振興調整費」を獲得、観測装置の開発開始

3月

開発した2つの装置が米国連邦航空局 (FAA) の環境試験 (地上試験) に合格

10月

初号機である747-400型機 (機番JA8917) の機体改修を実施、両装置を搭載

10~11月

FAAと日本の航空局から追加型式承認 (STC) 取得、装置を搭載した航空機の運航が可能になる

11月

CMEの初観測飛行実施 (初フライトはバンコック)

12月

ASEの初観測実施 (シドニー路線)

2月

2機目の747-400型機 (機番JA8921) の機体改修実施

3月

777-200ER型機の初号機であるJA705Jの機体改修実施

4月

環境省地球環境保全試験研究費の補助を受け本格的観測開始

10~11月

777-200ER型機の2号機にあたるJA703Jと3号機のJA707Jの機体改修を実施、5機体制での観測開始

10月

747-400型機によるブリスベン路線でのASE観測開始

3~4月

オーストラリア路線でのASE観測中止・手動サンプリング (MSE) 観測開始

4月

グアム路線でのASE観測開始

3~4月

グアム路線でのASE観測中止・ホノルル線でのASE観測開始

5月

CMEが5000回目の観測飛行実施

9月

ホノルル線でのASE観測中止

10月

ボーイング747-400型機での観測が全て中止、
ボーイング777-200ER型機3機での観測体制になる

4月

ボーイング777-200ER型機によるシドニー路線でのASE観測開始

4月

ボーイング777-200ER型機による欧州路線でのASE観測開始

6~9月

777-200ER型機のJA708JとJA709Jの機体改修を実施

7月

1機目のCONTRAILロゴを塗装した機材 (JA707J) が運航を開始

3~8月

777-200ER型機のJA702J、JA710J、JA711Jの機体改修を実施
8機体制での観測開始

6月

CONTRAILチームが第40回環境賞の環境大臣賞/優秀賞を受賞

10月

CONTRAILチームが第19回日韓国際環境賞を受賞

11月

2機目のCONTRAILロゴを塗装した機材 (JA705J) が運航を開始
CMEが10000回目の観測飛行実施

4月

研究所職員による欧州路線でのMSE観測開始

11~12月

ボーイング社のecoDemonstrator計画に参加

2月

1機目の777-300ER型機 (JA734J) にCMEを搭載するための改修を実施

4月

CONTRAILチームが第24回地球環境大賞の「特別賞」を受賞

3月

2機目の777-300ER型機 (JA733J) を改修

